



地すべり面の深さと量を測定

地すべり地帯における地すべり面の深さおよびすべり量を推定するものです。塩ビパイプにひずみゲージを貼り付けて塩ビの柔軟性を利用したパイプ歪計であり、地すべり地点にボーリングし、その孔に多数の検出器を中間パイプで継ぎ足しながら垂直におろし周囲に砂を投入固定して使用します。測定は深度ごとに各検出器を順次切り換えて曲げひずみ量を測定し、その量からすべりの大きさと深さを推定します。

(東京電機(株)製)

仕様

ケージ抵抗	単軸120Ω(2ゲージ法)
外形寸法	φ48×約1m
最大接続長	30m程度
特別付属品	中間パイプ ソケット

※ストレーナ加工、フィルタ巻き加工については営業員までお問い合わせください。
※地すべり観測・監視システムについてはP.7-94を参照してください。